

今回の2か月の滞在期間中、INAM 予報部内に JICA 研修ワーキンググループ(5名)を設置して頂き、集中的に OJT 等の研修を行いました。5名の研修員には、非常に真面目に取り組んで頂き成果もあがりましたが、着実に予報技術の能力を向上させるためには継続的な研修の実施が求められます。

昨年、マプト(首都)・ベイラ・ナンプラーの3か所に自動雨量観測装置を設置しましたが、今回は更に観測機能を向上させるためこの3か所に気温と湿度のセンサーを設置しました。昨年は乾季のため土が固く土台作りに苦労しましたが、今回の1~2月は雨季で、土が柔らかく、スムーズに設置作業は完了できました。



気温・湿度センサーの校正、現地での設置風景。円筒が前回設置した雨量計

アフリカ大陸紀行

今回は2か月近い滞在のため、ビザの更新もかねて、2月5日(日)に南アフリカのグルーガ―国立公園を訪れました。同公園はアフリカ有数の規模を誇る鳥獣保護区で、様々な動物と出会いました。中でも遠くを見ているキリンの孤高な姿が印象的でした。また、広々とした風景や密集して建っている小さな家屋もアフリカ的でした。



2月19日(日)には、南インド洋を肌で感じるため、車で2時間程のビーチに出かけました。写真右の砂浜にいる人はドライバーで、大型モニター、接続ケーブルやアダプターの調達で幾度となく大変お世話になりました。どこでも生きていけそうなモザンビークを感じさせるタフガイでした。



(振興部)